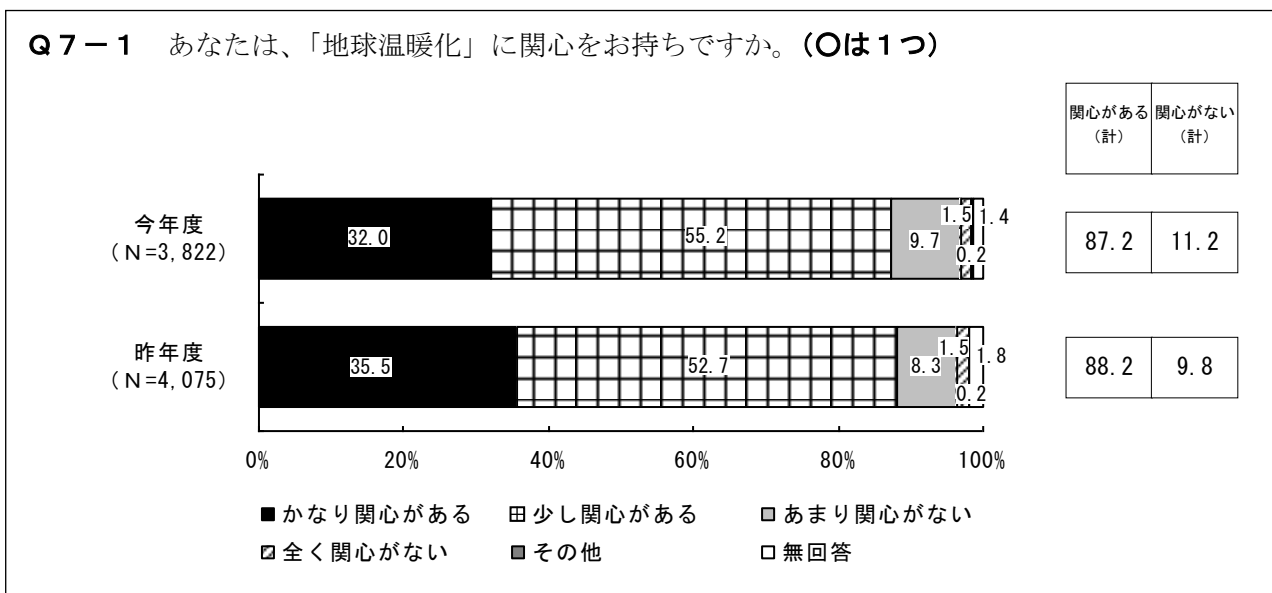


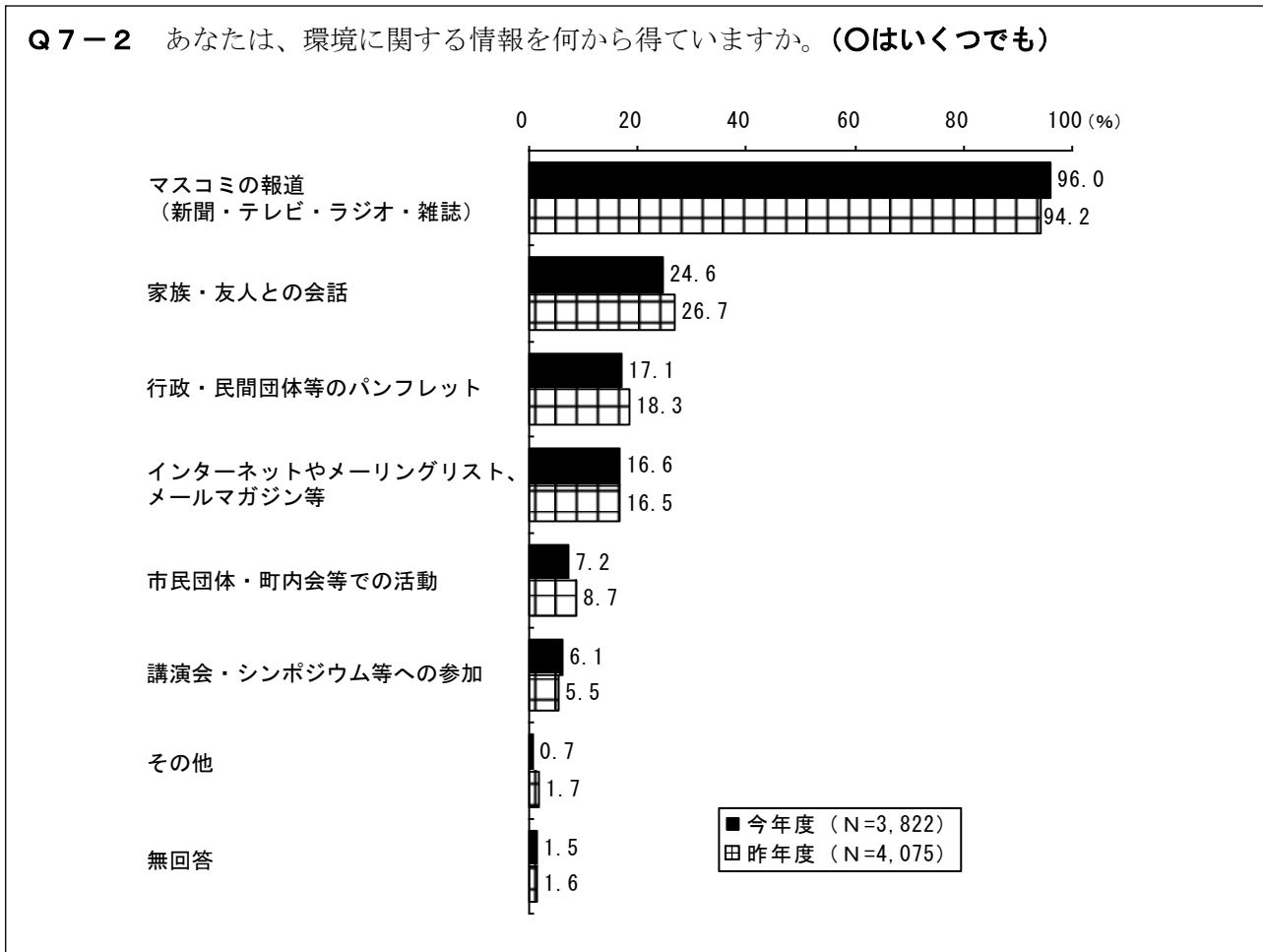
7. 地球温暖化

7-1. 「地球温暖化」への関心度



地球温暖化への関心度について、「かなり関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が87.2%、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない(計)』が11.2%となっている。昨年度と比較すると、『関心がある(計)』がともに約9割と大きな差はみられない。

7-2. 環境に関する情報の入手媒体



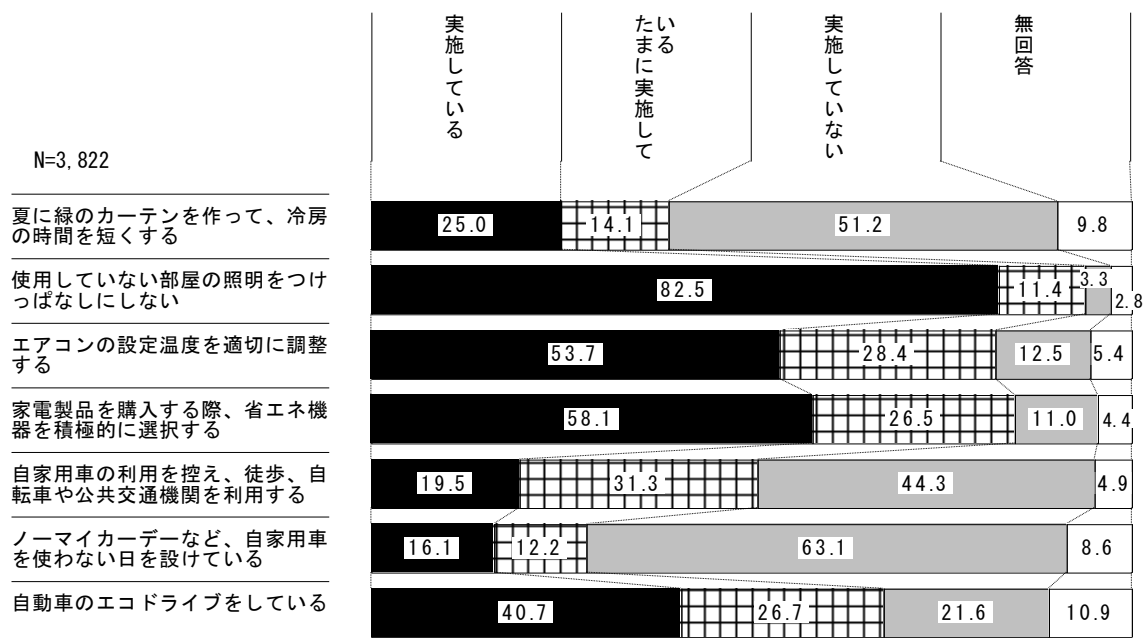
環境に関する情報の入手媒体について、「マスコミの報道（新聞・テレビ・ラジオ・雑誌）」が96.0%と最も高く、次いで「家族・友人との会話」（24.6%）、「行政・民間団体等のパンフレット」（17.1%）、「インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等」（16.6%）、「市民団体・町内会等での活動」（7.2%）、「講演会・シンポジウム等への参加」（6.1%）の順となっている。昨年度と比較すると、いずれの調査も「マスコミの報道（新聞・テレビ・ラジオ・雑誌）」が9割台と最も高く、大きな差はみられない。

7-3. 地球温暖化防止のための取組

Q7-3 あなたの日常生活において、地球温暖化防止のために、どのような取組を行っていますか。いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

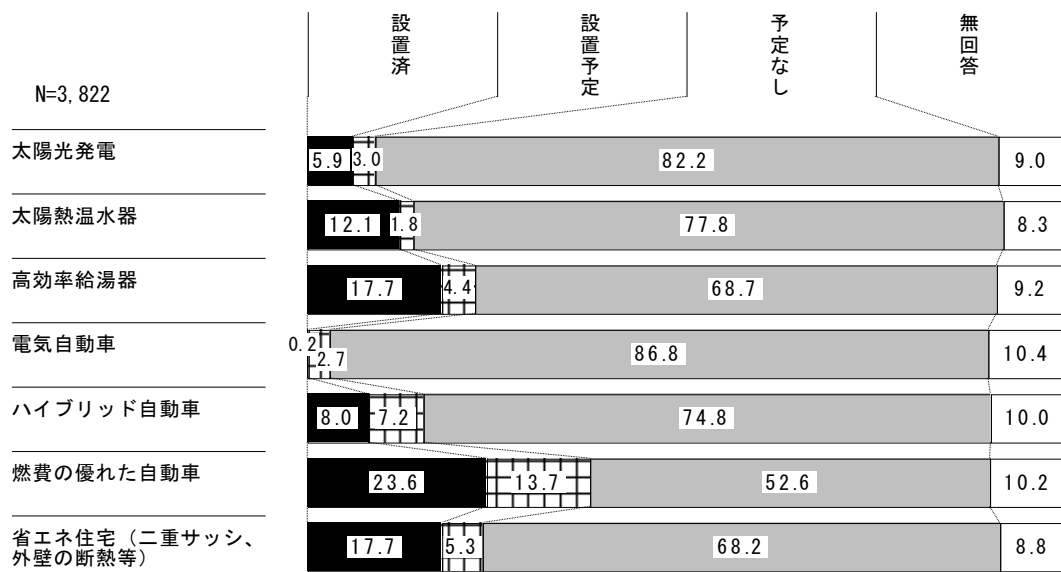
【家庭での省エネルギーの取組】

N=3,822



地球温暖化防止のための取組【家庭での省エネルギーの取組】について、「実施している」が「使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない」で82.5%と最も高く、「家電製品を購入する際、省エネ機器を積極的に選択する」(58.1%)、「エアコンの設定温度を適切に調整する」(53.7%)で5割台と高くなっている。

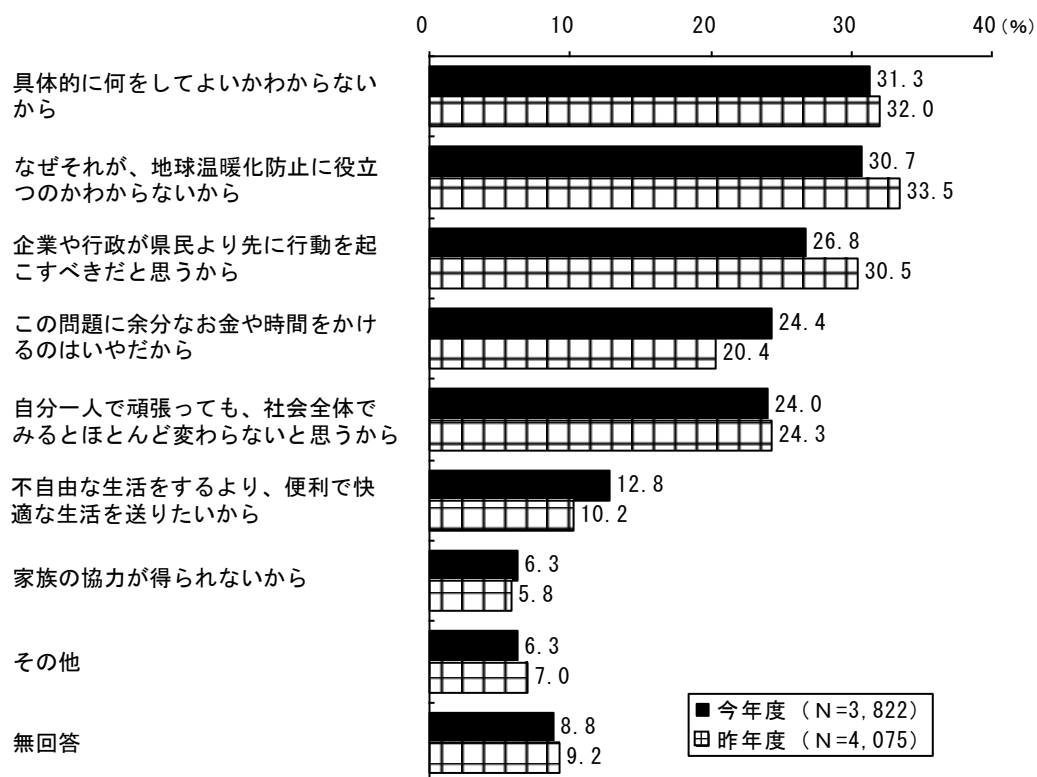
【新エネルギー・省エネルギー機器等の設置】



地球温暖化防止のための取組【新エネルギー・省エネルギー機器等の設置】について、すべての項目において「予定なし」が高くなっているが、「燃費の優れた自動車」では、「設置済」が23.6%と2割を超えている。

7-4. 地球温暖化防止行動に取り組みにくい理由

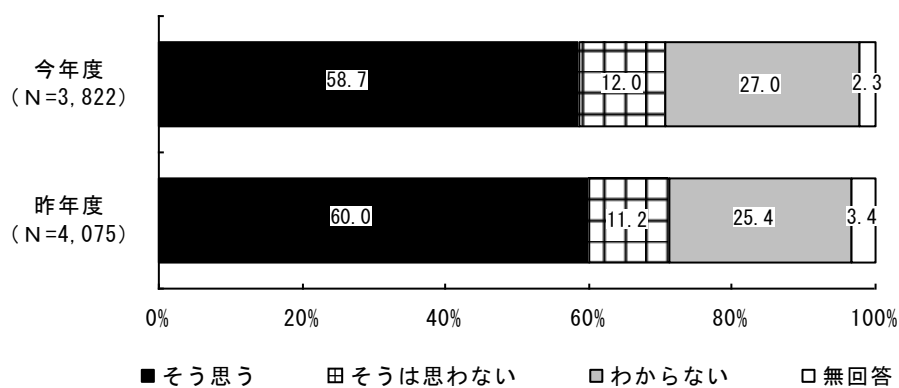
Q7-4 温暖化防止行動を行う場合、取り組みにくい理由は何ですか。現在活発に行動されている方も、取組スタート当初の頃を思い出して記入してください。(〇は3つまで)



温暖化防止行動に取り組みにくい理由について、「具体的に何をしてもよくわからないから」(31.3%)、「なぜそれが、地球温暖化防止に役立つかわからないから」(30.7%)が3割台と高く、次いで「企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから」(26.8%)、「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」(24.4%)、「自分一人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから」(24.0%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」は4.0ポイント上昇し、「企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから」は3.7ポイント低下している。

7-5. 「経済発展等より温室効果ガスの排出削減を優先」という考え方

Q7-5 あなたは、「経済発展や生活の利便性を若干犠牲にしても、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減を優先しなければならない」という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)



「経済発展等より温室効果ガスの排出削減を優先」という考え方について、「そう思う」が58.7%、「そうは思わない」が12.0%、「わからない」が27.0%となっている。昨年度と比較すると、大きな差はみられない。